

01 高齢

毎日を快適にする方法、知っていますか？

浴室・洗面所・トイレ・キッチン

毎日使う水廻りだからこそ、使いやすさと安全が大切です。

美味しい食事をつくるキッチン、一日の疲れを癒してくれるお風呂、心地よい朝と夜を向かえる洗面室、そして、一日に何度も使うトイレ。水廻りスペースといえば、暮らしの中でずっと付き合っていく大切なところ。それぞれに日常的な場所だからこそ、よりよい使いやすさと安全性を備えておきましょう。

浴室のリフォームポイント

ドア
段差をなくした出入口に引戸か折戸を用いて、開口部を広く、安全にします。また、もしものときに備えて、外から開けられることも肝心です。

床
湯水や石鹸を使う洗い場の床面は、滑りやすくなって転倒を引き起こすことも。濡れていても滑りにくい仕上げを施します。

温度差による疾患（ヒートショック）を防ぐために

寒い浴室と熱いお風呂、ヒートショックにより死亡する例も少なくありません。特に中高年の方に多い高血圧者は血圧の激変が起りやすく浴室での事故が心配です。

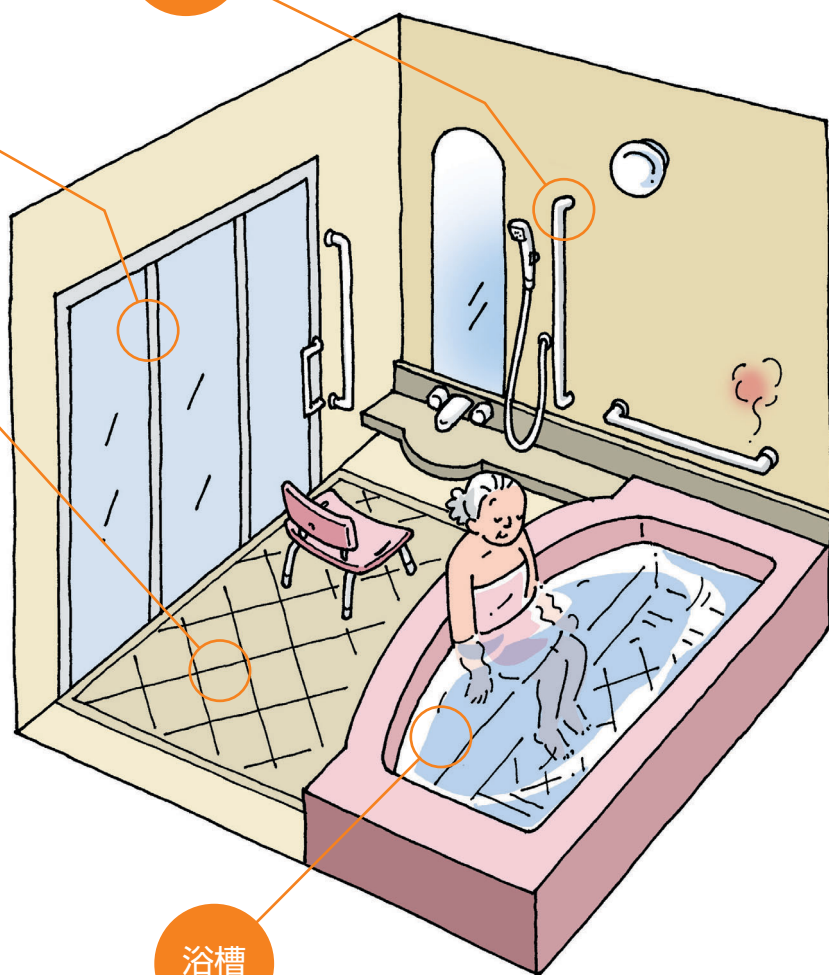
浴室暖房で外部との温度差をなくす！



暖房機能

脱衣室・浴室のヒートショックを1台で防止できます。

手すり
出入口や浴そうまわりなど、手すりを使う人の背丈や動作に配慮して設けることで、入浴時の安全をよりよくサポートします。



浴槽

またぎ高を低くしたり、ふちを広くして腰掛けられるようにすることで、またぎ動作をサポート。ゆったりとベンチで座って浸かれるようにしたり、底面をノンスリップで滑りにくくするなど、お好みに合わせて選べます。

呼び出しボタン



入浴時の転倒や体調不良など、もしものときに家族に知らせることができる呼び出しボタンを、手の届きやすい位置に設置します。

洗面所のリフォームポイント

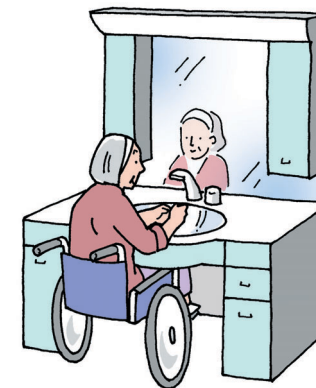
収納付ベンチ

入浴時の脱衣も安定した姿勢でスムーズにでき、お風呂上がりの休憩にも一役。下には収納スペースを設けていて便利です。



ニースペース付洗面台

膝まで入るニースペースを設けることで、座ったままや車椅子で足腰に負担をかけずに身だしなみを整えられます。



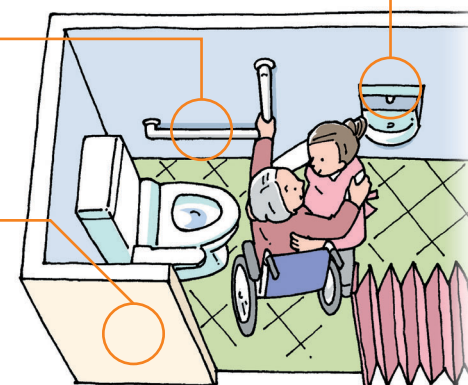
トイレのリフォームポイント

L型手すり

握りやすい位置にL型手すりを設置し、立ち座りの不安定な動作を助けます。

出入口

出入口を引戸や外開きのドアにし、万が一の事故や緊急時に備えます。



手洗い器

手洗い器をタンクとは別に取り付けて使いやすさに配慮。センサー付き自動水栓にすると、手をかざすだけでさらに手洗いが簡単です。

呼び出しボタン

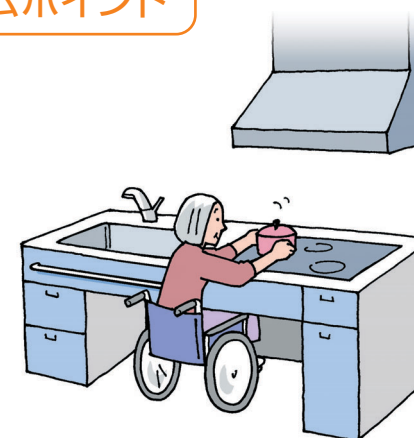
もしものときに、すぐに家族に知らせられる呼び出しボタンを設置します。



キッチンのリフォームポイント

車いす対応のニースペース付システムキッチン

シンクやワークトップの下に空間を設け、座りながら車椅子のままでお料理ができるように。また、つかまり立ちを助ける手すりや、引き出し式の収納を用いるなど、これからの使い勝手を考えて仕上げていきます。



全自動消火システム

お料理の最中やお鍋のかけ忘れなどで火災が発生したとき、人がいなくても自動的に炎を感知し、初期消火してくれます。



「高齢者住宅助成制度」を利用いただけます。

身体機能の低下により支援・介護を必要とする高齢者が、住宅の改造を行うことにより、在宅で安全な生活が続けられるよう支援するとともに、介護者の肉体的・精神的負担を軽減することを目的として、その改造費用の助成をする制度です。

■住宅改造助成事業

	対象者	助成対象箇所
特別型	介護保険の要支援・要介護認定を受けた者のいる世帯 身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている者のいる世帯	①浴室・洗面所 ②トイレ ③玄関 ④廊下・階段 ⑤居室 ⑥キッチン
一般型	①60歳以上の高齢者のいる世帯 ②身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている者のいる世帯	※上記の改造箇所6箇所の内、3箇所以上かつ、必須工事の実施が必要。
共用型	1棟21戸以上の既存分譲共同住宅の管理組合 (但し、1棟51戸以上で平成5年10月1日以降に建築されたものを除く)	